

# アメリカンフットボール (NFL) 特集



▲Texansの選手入場シーン

皆さん、アメリカで大人気のアメリカンフットボール(アメフト)のプロリーグ、NFLをご覧になっていますか？今回はNFLと、同リーグで今シーズン躍進著しい我がHouston Texansについて、昨年度商工会の理事会でネタに困るとスポーツの話でお茶を濁していた私(一応、大学時代に同好会でプレーしていた経験者)からご紹介させていただきます。アメフトにあまり詳しくない方こそぜひ、ご一読ください。

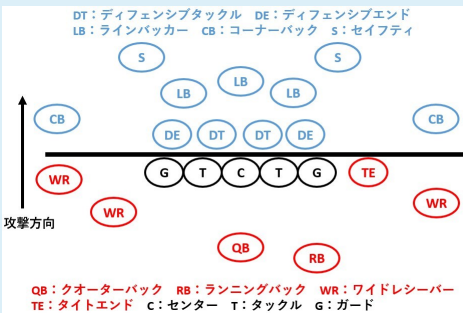
アメフトのルールは複雑に感じられるかもしれませんが、YouTubeにも日本語での解説動画がありますので、ご存じない方はご覧になってみてください。まずは基本さえ把握すれば、試合はその迫力とスピードで充分お楽しみ頂けると思っています。

NFLには32チームが所属し、それがAFCとNFCの2カンファレンスに、その中でさらに東西南北の4地区(各地区4チーム)に分かれています。レギュラーシーズンは9月から翌年1月初旬で、各チームが基本毎週日曜日に17試合を戦い、14チームが1月中旬からのプレーオフに進出します。そしてトーナメントを勝ち抜いた2チームが2月に開催されるSuper Bowl(SB)で対戦し王者を決定する流れとなります。SBは試合はもちろん、有名アーティストが出演するハーフタイムショーや、試合の合間に流れるコマーシャルまでも注目度が高く、皆さんも耳にされたことがあるのでは無いですか。ちなみに、NFLはシーズン中木曜と月曜の夜にも数試合が開催され、土曜日にはこれも人気の高い大学アメフトの試合があるため、アメフト好きになれば週4日をアメフト漬けで暮らすことが可能です(笑)

ちなみに第一回SBは1967年開催。これ迄の有名な強豪チームとしては、1970年代はQB(司令塔)Roger Staubach率いるDallas Cowboysと、鉄壁守備「Steel Curtain」で有名なPittsburgh Steelers。80年代はQB Joe MontanaのSan Francisco 49ers。90年代はQB Troy AikmanのDallas Cowboys。2000年以降では、歴代最高QBと言われるTom BradyがNew England Patriotsを6回(他チームでも含めると計7回！)のSB制覇に導く偉業を達成しています。近年ではQB Patrick Mahomes擁するKansas City Chiefsが2019、22年シーズンのSBを制しました(Chiefsと言えば、最近Taylor Swiftが、Chiefsの選手と付き合っていることも大変衆目を集めています)。

そして、我がHouston Texansです。Houstonには以前はOilersというNFLチームがあったのですが、1997年にNashvilleに移転(現在のTennessee Titans)。Texansはその穴を埋めて2002年にHoustonを本拠地にNFLに加盟した、NFLで最も新しいチームです(AFC南地区所属)。プレーオフには過去6回進出し、DE#99(←ポジションと背番号です)J.J. Wattなどが有名でしたが、2020-22年の3シーズンは計11勝38敗1分と大低迷。スタジアムもシーズン中盤を過ぎると閑古鳥が鳴きそうな有様でした。が、その間に、前年度の下位チームが上位指名権を得られる仕組みのドラフトで有望新人を獲得。現在の2023年シーズン前には、元Texansの主力守備選手で他チームでコーチ経験を積んでいたDeMeco Ryans(まだ39歳)を新監督に迎え、彼が若く有能なコーチ陣を連れてきた上に、ドラ

フトでは全体2位でQB#7 C.J. Stroud(Ohio州立大)を獲得。さらに、素行に問題のあった有力選手を放出して他チームから得たドラフト枠などを活用して、同3位でDE#51 Will Anderson Jr.(Alabama大)を獲得するなどの補強を行い、Texansファンの間では期待が大いに高まってシーズンに突入しました。とは言え、専門家の間でTexansを推す声は皆無。実際、開幕から連敗し「やはり今年もダメか」と期待が萎みかけましたが、第3週に同地区のJacksonville Jaguarsを破って勢いが付いてからは勝ち星を重ね、一躍NFLファンの注目を集めるチームとなりました。特にStroudは、ドラフト前にはその能力を疑う声も聞かれていましたし、新人QBが初年度から活躍する例は極めて少ない中、プロのスピードにいち早く慣れると、守備の隙や綻びを瞬時に見分け抜群のタイミングで正確なパスを投げ込む能力を遺憾なく発揮。第9週には試合当たりの歴代新人QBパス記録を更新し、最優秀攻撃新人選手賞はもちろん、MVPの候補にまで名前が挙がる目覚ましい活躍ぶりです。他にも、上述のAnderson Jr.や、地元Houston大から獲得したWR#3 Tank Dellらが活躍し、新人の当たり年となりました。新人以外でも、攻撃ではWR#12 Collins、RB#26 Singletary、TE#86 Schultz、守備ではLB#53 Cashman、CB#24 Stingley Jr.、S#5 Pitreなどの選手が本領を発揮し、Texansの本拠地NRG Stadiumは昨年までとは全く違う熱気に包まれました。そして、Texansはレギュラーシーズン最終戦で



プレーオフ進出をかけた同地区Indianapolis Colts戦を制し、さらに同地区 Jacksonville Jaguarsが最終戦を落とす幸運にも恵まれ、シーズン10勝7敗で、2019年以来となるAFC南地区優勝とプレーオフ進出を見事に果たしました。

プレーオフ一回戦は1/13-15の開催で、Texansは1/13にCleveland Brownsとホームでの対戦となりました。本号が発行される際には結果が出ている筈ですが、Texansは二回戦に進出出来ておりますでしょうか？この後は、1/20-21に二回戦、1/28に両カンファレンス決勝、そして2/11にLas VegasでSuper Bowlが開催される予定で、正にシーズンの最高潮を迎えることとなります。これまでアメフト、NFLに興味がありませんでしたが、折角アメリカにいる今、ぜひTV観戦から始めてみてください。そして来シーズンにはNRG Stadiumで、更なる躍進が期待されるTexansを共に応援しましょう！

P.S. 余談ですが、アメフトを題材とした映画も数多くあります。私の一番のお勧めは、逆境から這い上がり1999年シーズンのSBを制した実在のQB Kurt Warnerを題材とした「[アメリカン・アンダードッグ](#)」。胸が熱くなる最高の映画ですので、お時間ある際にぜひ！(米国三井物産 早坂 晃)